

業務名称：2027-2029年度JICA海外協力隊グローバルプログラム支援業務

（掲載日：2026年10月2日 調達管理番号：26a00846）について、意見及び質問に関する回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P6	想定業務量	（１） 総括・副総括については、並列での記載となっていますが、それぞれ1人に対しての業務量であるか2名合計での業務量となるか、読み取り方が異なることが想定されるので、総括副総括合計であれば、そのような補足の記載があるとよろしいかと思われます。	総括および副総括の想定業務量については、目安として総計の業務量を示したものです。誤解を招かないよう、最終的な入札説明書等において必要に応じて記載の明確化を検討いたします。
2	P8	（３）JICA 海外協力隊グローバルプログラムの社会的インパクト評価および評価モデル構築に係る調査（案）	「また、GP 参加者と非参加者との比較分析等を通じて、GP による追加的な人材育成効果及び社会還元効果を検証する」との記載がありますが、比較となる非参加者の情報はこういった形で提供されるか、あるいは非参加者へのヒアリング等も必要に応じて受注者で実施をするのか、何のための比較分析かの説明を追加していただけるとよろしいかと考えます。	本調査における非参加者との比較分析は、グローバルプログラムへの参加による追加的な効果を検証することを目的としております。 比較対象となる非参加者に関する情報については、JICAが保有する情報の提供を基本としつつ、具体的な比較手法や必要な調査対象者の選定、追加的な情報収集の必要性については、受注者からの専門的見地による提案を期待しています。そのため、非参加者へのヒアリング等の実施の要否も含め、詳細な調査設計については契約後に協議・調整を行う予定です。
3	P12	2）アルムナイ形成支援	活動地域によっては、受入団体と参加実習生の間ですでにSNS等でのネットワークが形成されていますが、参加者全員を対象としたアルムナイネットワークの形成を目指すより既存のネットワーク、あるいは地域別のネットワークを活性化から着手していった方が効果的な運営につながると考えられますが、いかがでしょうか。	アルムナイ形成に当たっては、参加者全体を対象としたネットワーク形成を目指しつつも、既に形成されている地域単位のネットワークや受入団体とのつながりは重要な資産であると認識しています。 そのため、既存ネットワークの活性化や地域ごとのつながりの強化も含め、参加者同士や関係者間の継続的な交流促進に資する効果的な手法について、受注者からの提案を期待しています。